

シンポジウム

メディア・アートとは何か？

藤幡正樹著『不完全な現実』をめぐって

2009年7月25日(土) 15時30分-19時30分

東京大学本郷キャンパス 情報学環・福武ホール 福武ラーニングシアター

藤幡正樹

(東京藝術大学大学院 映像研究科長 / メディア・アーティスト)

石田英敬

(東京大学大学院 情報学環長 / 情報記号学者)

建畠 哲

(国立国際美術館長 / 美術批評家・詩人)

メディア・アートと人文知を代表する三氏が

クリエーション クリテイク

創造と批評の原点を探る

何がメディア・アートの敵であり友なのか？

メディア・アートが働きかける現実(感)とは何か？

メディアとアートをめぐる議論が混迷を深めるなか、

文化産業やテクノロジーのアジェンダを超えた、

真の創造的前線を討議する。

第1部 『不完全な現実』をめぐって

15:30-17:00

藤幡正樹(問題提起) + 石田英敬(対論者)

第2部 「メディア」×「アート」

17:15-19:30

藤幡正樹 + 建畠哲 + 石田英敬

司会: 松井茂(詩人)

入場料: 無料

参加申し込み: mediaart@nulptyx.com

件名をあなたの氏名にして、メール本文に氏名、ふりがな、所属を記入し、上記アドレスまでお送りください

お問い合わせ、プレス窓口: publicity@nulptyx.com
03-5454-4939 (東京大学 石田英敬研究室)

主催 東京大学大学院 情報学環 共催 東京藝術大学大学院 映像研究科